

$$(四) \quad y = -5 - \frac{1}{3}x + \frac{2}{5}x^2 - \frac{6}{8}x^3 - \frac{15}{11}x^4 - \frac{24}{13}x^5$$

### 三 定積分ト不定積分

不定積分カラ定積分ヲ求メル方法ヲ考ヘヨウ。

不定積分ニ於ケル積分定數ハ、函数ヲドコカラズマデ積分スルカニヨツテ定マル數デアル。次ノ不定積分ヲ例ニトソテ考ヘヨウ。

$$\int 3x^2 = x^3 + k$$

デ、0カラxマデ積分スルモノトスレバ、 $x=0$  = 對スル原始函数ノ値ハ0デナケレバナラナイ。隨ツテ、コノ場合ニハ、 $k=0$ ト定マル。

-5カラxマデ積分スルモノトスレバ、 $x=-5$  = 對スル原始函数ノ値ハ0デナケレバナラナイ。隨ツテ、コノ場合ニハ、 $k=125$ ト定マル。

問一 函数  $y = \frac{3}{2}x^2 + 3x + 4$  の原始函数ヲ言ヘ。次ニヨリ用ヒテ、次ノ積分ヲセヨ。

$$(一) \quad \int_2^3 \left( \frac{3}{2}x^2 + 3x + 4 \right) dx \quad (二) \quad \int_{-1}^1 \left( \frac{3}{2}x^2 + 3x + 4 \right) dx$$

問二 次ノ定積分ヲ求メヨ。

$$(一) \quad \int_1^8 (x^2 - 5x + 4) dx \quad (二) \quad \int_1^4 (x^2 - 5x + 4) dx$$

$$(三) \quad \int_1^8 (x^2 - 5x + 4) dx$$

問三 前問(二)、(三)ノ定積分ノ値ハ、圖表ノ上デドンナモノヲ表スカ。函数  $y = x^2 - 5x + 4$  の圖表ヲ書イテ調ベヨ。

# 中等数学

四

## 第一類

文部省調査會寫刊行課寄贈

文部省

[後] ￥ 95

問四  $x$  の函数  $f(x)$  トスルノジ原始函数ノーッフ  $F(x)$  トスルト、次ノ関係ガアルヨレ考證明セヨ。

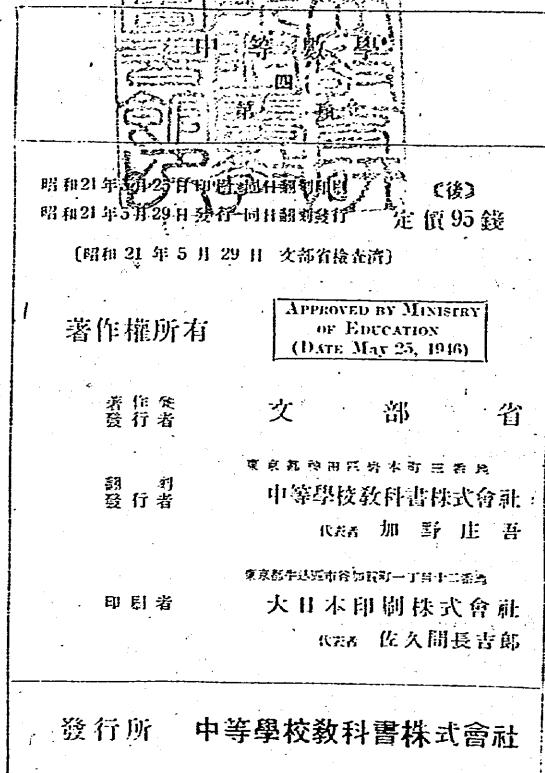
$$\int_a^b f(x)dx = F(b) - F(a)$$

一 次ノ函数ノ原始函数ヲ言ヘ。

- |                               |                                       |
|-------------------------------|---------------------------------------|
| (一) $y=x^3$                   | (二) $y=x^4$                           |
| (三) $y=x^5$                   | (四) $y=x^6$                           |
| (五) $y=\frac{1}{x^3}$         | (六) $y=\frac{1}{x^4}$                 |
| (七) $y=x^{-5}$                | (八) $y=x^{-12}$                       |
| (九) $y=x^{\frac{1}{2}}$       | (十) $y=x^{\frac{5}{3}}$               |
| (十一) $y=\sqrt{x}$             | (十二) $y=\sqrt[5]{x^3}$                |
| (十三) $y=x^{-\frac{2}{3}}$     | (十四) $y=x^{-\frac{1}{4}}$             |
| (十五) $y=-\frac{1}{\sqrt{x}}$  | (十六) $y=\frac{1}{\sqrt[3]{x}}$        |
| (十七) $y=\frac{x^2}{\sqrt{x}}$ | (十八) $y=\frac{\sqrt[3]{x}}{\sqrt{x}}$ |

二 二 次ノ函数ノ原始函数ヲ言ヘ。

- |  |   |
|--|---|
| (一) $5x+3$   | (二) $-\frac{1}{2}x+4$   |
| (三) $3x^2+2x-1$  | (四) $-\frac{x^3}{3}+\frac{x}{4}+5$                                |
| (五) $3\sqrt{x} + \frac{3}{2}\sqrt[3]{x}$                         | (六) $3x^{-\frac{1}{2}} - \frac{5}{2}x^{-\frac{3}{2}}$             |
| (七) $\frac{2}{9}x^{-\frac{1}{3}} + \frac{2}{15}x^{-\frac{2}{3}}$ | (八) $-\frac{3}{10}x^{-\frac{1}{4}} - \frac{5}{8}x^{-\frac{1}{2}}$ |



$$(九) \sqrt{x}(x-x^2) \quad (十) \sqrt[4]{x}(-x^3+x^2)$$

三 函数  $y=2x-3x^3$  の原始函数ヲ求メ。

(一)  $x=0$  の時, 0 トナルモノ。

(二)  $x=0$  の時, 15 トナルモノ。

(三)  $x=2$  の時, 0 トナルモノ。

ヲ求メヨ。

四 次の直線と抛物線との間マレル面積ヲ計算セヨ。

$$y=2x-8, \quad y=x^2$$

五 次の定積分ヲ求メヨ。

$$(一) \int_1^4 x^3 dx$$

$$(二) \int_1^4 \left(-\frac{1}{2}x^4\right) dx$$

$$(三) \int_{-1}^3 (x^3 - 2x - 3) dx$$

$$(四) \int_{-1}^3 (x^3 - 2x - 3) dx$$

$$(五) \int_{-1}^2 (x-1)(x-2)^3 dx$$

$$(六) \int_{-1}^3 (x+1)^3(x-3) dx$$

六 曲線  $y=f(x)$  が  $x$  軸の上方ニアモノトスル。ヨノ曲線ノ  $x$  軸及ビ二直線  $x=a, x=b$  が固ム图形ヲ、 $x$  軸ノ周リニ一回轉スルト、一つの立體が出来ル、ソノ體積  $V$  ハ次ノ等式ヲ書キ表サレル。

$$V = \int_a^b \pi y^2 dx = \pi \int_a^b y^2 dx$$

次ニ述べルコトヲ参考ニシテ、上ノ等式ヲ證明セヨ。

$x$  軸上デ  $a$  カラ  $b$  マデノ間ノ  $n$  等分シ、各分點ヲ通ル縦線ヲ

共

引イテ、前頁ノ圖ノヤウニ  $(n-1)$  箇ノ矩形ヲ作ル、ヨノ矩形ガ  $x$  軸ノ周リヲ一回轉シテ出來ル立體ノ體積ヲ求メヨ。

七 次の立體ノ體積ヲ求メヨ。

(一) 球 (二) 直圓錐

## 六 三角函数ノ微分

今マデニ、多項式及ビ分數式デ表サレル函数ヲ、微分及ビ積分スル仕方ニ就イテ考ヘタ。

前節テリカツタヤウニ、或ル函数ヲ積分スルニハ、微分シテ、與ヘラレタ函数ニカルモノガ見出サレルトヨイ。隨ツテ、多クノ函数ノ微分ヲ知シテキレバ、ソレダケ積分デキル函数ノ範囲が廣クナル。ヨノ節及ビ續ク二節ニ於イテ、種々ノ函数ノ導函数ヲ求メヨウ。

先づ、三角函数ノ微分シテミヨウ。

問一  $y=\sin x$  の圖表ヲ書ケ。

(一) 横軸ノ單位ヲ 1 弧度トシテ、ソノ導函数ノ圖表ヲ書キ加ヘヨ。

(二) 横軸ノ單位ヲ 1 度トスルト、導函数ノ圖表ハドウナルカ。

問二 正弦ノ導函数ヲ求メル場合ニ、横軸ノ單位ヲ 1 弧度トスルノガヨイカ。又ハ、1 度トスルノガヨイカ。前問ヲ参考ニシテ調べヨ。

ココデバ、角ヲ弧度法デ表スモノトスル。

$x$  ガ  $\Delta x$  ダケ増加スル時,  $y$  ガ  $\Delta y$  ダケ變化スルモノトスル。

$$\frac{\Delta y}{\Delta x} = \frac{\sin(x + \Delta x) - \sin x}{\Delta x}$$

等式  $\sin(\alpha + \beta) - \sin(\alpha - \beta) = 2 \cos \alpha \sin \beta$  ツ用ヒテ、上ノ  
平均變化率  $\frac{\Delta y}{\Delta x}$  ヲ、次ノヤウニ變形スルコトガデキル。

$$\frac{\Delta y}{\Delta x} = \cos\left(x + \frac{\Delta x}{2}\right) \frac{\sin \frac{\Delta x}{2}}{\frac{\Delta x}{2}}$$

隨ツテ、 $y = \sin x$  ノ微分スルニハ、結局  $\theta$  ガ  $0$  = 限リナク近  
ヅク時ニ於ケル  $\frac{\sin \theta}{\theta}$  ノ極限ヲ知ラナケレバナラナイ。既ニ學  
ンダヤウニ、ソノ極限値ハ  $1$  デアル。

問三  $y = \sin x$  ノ導函数ヲ求メヨ。

問四  $y = \cos x$  ノ導函数ヲ求メヨ。

三角函数ノ微分ニ就イテ、次ノコトガワカツク。

$$y = \sin x \text{ ノ時, } \frac{dy}{dx} = \cos x$$

$$y = \cos x \text{ ノ時, } \frac{dy}{dx} = -\sin x$$

問五 次ノ函数ヲ微分セヨ。

$$(一) y = 5 \sin x \quad (二) y = -8 \cos x$$

問六 次ノ函数ノ原始函数ヲ求メヨ。

$$(一) y = \sin x \quad (二) y = \cos x$$

一 次ノ函数ヲ微分セヨ。

$$(一) y = 10 \sin x \quad (二) y = \frac{1}{2} \cos x$$

$$(三) y = \sin 2x \quad (四) y = \cos 2x$$

$$(五) y = \sin\left(x + \frac{\pi}{2}\right) \quad (六) y = \cos\left(2x - \frac{\pi}{4}\right)$$

二 次ノ函数ヲ積分セヨ。

$$(一) y = -2 \sin x \quad (二) y = -\frac{1}{2} \cos x$$

$$(三) y = -\sin\left(x - \frac{\pi}{4}\right) \quad (四) y = \cos\left(x + \frac{\pi}{4}\right)$$

三  $y = \tan x$  ノ導函数ヲ求メヨ。

四 曲線  $y = \sin x$  及ビ  $x$  軸ノ  $0$  カラ  $\pi$  マデノ部分ガ圓ム圖  
形ノ面積ヲ求メヨ。

五 次ノ函数ノ極大及ビ極小ヲ求メヨ。

$$(一) y = \sin x \quad (二) y = \cos x$$

$$(三) y = \sin x + \cos x \quad (四) y = \sin x - \cos x$$

$$(五) y = 3 \sin x + 4 \cos x \quad (六) y = 3 \sin x - 4 \cos x$$

## 七 種々ナ微分ノ仕方

一 函数ノ函数

前節ノ問題一デ

$$y = \sin 2x \text{ ノ時, } \frac{dy}{dx} = 2 \cos 2x$$

$$y = \cos 2x \text{ ノ時, } \frac{dy}{dx} = -2 \sin 2x$$

デアツタ。

問一 函数  $y = \sin(\alpha x + \beta)$  ( $\alpha, \beta$  は定数) の導函数を求メヨ。

上ノ函数  $y = \sin(\alpha x + \beta)$  ノ、 e ット容易ニ積分スルコトガデキナイダラウカ。ソノ函数ハ、次ノヤウニミルコトガデキル。

$$y = \sin z, \quad z = \alpha x + \beta$$

明ラカニ、 $y$  ハ  $z$  の函数デ、 $z$  ハ  $x$  の函数デアル。

函数  $z = \alpha x + \beta$  は於イテ、 $x$  ノ  $dx$  ダケ増加サセルト、 $z$  ハ  $dz$  ダケ變化シタスル。又、函数  $y = \sin z$  は於イテ、 $z$  ハ  $dz$  ダケ變化シタスルト、 $y$  ハ  $dy$  ダケ變化シタスル。

$y$  の平均變化率ハ、次ノヤウニ書キ表スコトガデキル。

$$\frac{dy}{dx} = \frac{dy}{dz} \cdot \frac{dz}{dx}$$

$dx$  ハ 0 = 限リナク近ヅクト、 $dz = 0$  = 限リナク近ヅク、又  $dy = 0$  = 限リナク近ヅク。故ニ、 $dx$  ハ 0 = 限リナク近ヅクト。

$\frac{dy}{dx} = \frac{dy}{dz} \cdot \frac{dz}{dx}$  及ビ  $\frac{dz}{dx}$  ハソレゾレ  $\frac{dy}{dz}$ 、 $\frac{dz}{dx}$  = 限リナク近ヅク。

近ヅク。

上テ得ラレタ結果ハ、次ノヤウニ書キ表スコトガデキル。

$z$  ハ  $x$  の函数デ、 $y$  ハ  $z$  の函数デアルト、次ノ等式が成リ立ツ。

$$\frac{dy}{dx} = \frac{dy}{dz} \cdot \frac{dz}{dx}$$

問二 上ノ関係ヲ用ヒテ、 $y = \sin(\alpha x + \beta)$  の導函数を求メヨ。

問三 函数  $y = \cos(\alpha x + \beta)$  の微分セヨ。

問四 函数  $y = (x^2 + x)^3$  の微分セヨ。

問五 次ノ函数の微分セヨ。

(一)  $y = \sin 2x$

(二)  $y = \cos 2x$

(三)  $y = \sin\left(\frac{3}{4}\pi x + \frac{\pi}{2}\right)$

(四)  $y = (\sin x)^2$

## 二・函数ノ積

一ツノ函数ガ、導函数ノ既ニワカツテキルニツ或ハソレ以上ノ函数ノ積トミラレルコトガアル。例ヘバ、 $y = x^2 \sin x$  ハ、導函数ノワカツテキルニツノ函数  $y_1 = x^2$  及ビ  $y_2 = \sin x$  の積トミラレル。一般ニ

$$y = f(x) \cdot g(x)$$

$$y_1 = f(x), \quad y_2 = g(x)$$

今、 $x$  ガ  $dx$  ダケ増加シタスル、コノ時ニ於ケル  $y$  の變化  $\Delta y$  トシ、 $y_1$  及ビ  $y_2$  の變化ヲソレゾレ  $\Delta y_1$ 、 $\Delta y_2$  トスル。

$$\Delta y = (y_1 + \Delta y_1)(y_2 + \Delta y_2) - y_1 y_2$$

$$\frac{\Delta y}{dx} = y_1 \frac{\Delta y_2}{dx} + y_2 \frac{\Delta y_1}{dx} + \frac{\Delta y_1}{dx} \Delta y_2$$

$dx \neq 0$  = 限リナク近ヅケルト、 $\frac{\Delta y_1}{dx}$  及ビ  $\frac{\Delta y_2}{dx}$  ハソレゾレ  $\frac{dy_1}{dx}$ 、 $\frac{dy_2}{dx}$  = 近ヅク。又、 $\frac{dy_1}{dx}$  ハ或ル定マツタ値=限リナク近ヅキ、 $\Delta y_2 \neq 0$  = 限リナク近ヅクカラ、 $\frac{\Delta y_1}{dx} \cdot \Delta y_2 \neq 0$  = 限リナク近ヅク。

上デ得ラレタ結果ハ、次ノヤウニ書キ表スコトガデキル。  
 $y_1$  及ビ  $y_2$  ハ共=  $x$  の函数デ、 $y=y_1 \cdot y_2$  デアルト、次ノ等式ガ成リ立ツ。

$$\frac{dy}{dx} = y_1 \frac{dy_2}{dx} + y_2 \frac{dy_1}{dx}$$

問一 函数  $y=x^2 \sin x$  ヲ微分セヨ。

問二  $\sin 2x = 2 \sin x \cos x$  デアル、コノ等式ヲ用ヒテ、  
 $y=\sin 2x$  ヲ微分セヨ。

### 三 函数ノ商

前節ノ問題三デ、 $y=\tan x$  ヲ微分ヲ求メタ、 $\tan x$  ハ、導函数ノウカツテキル二ツノ函数  $y_1=\sin x$ ,  $y_2=\cos x$  ノ商トシテ書キ表スコトガデキル。一般ニ、或ル函数ガ、導函数ノ既ニワカツテキル二ツノ函数ノ商トミラレル場合ガアル。即チ

$$y_1=f(x), \quad y_2=g(x)$$

$$y = \frac{y_1}{y_2}$$

今、 $y$  ヲ  $y_1 \times \frac{1}{y_2}$  トミナシテ、 $\frac{1}{y_2}$  ヲ改メテ  $y_3$  トスレバ、 $y$  ハ、 $y_1$  ト  $y_3$  トノ積トミラレル。故ニ

$$\begin{aligned}\frac{dy}{dx} &= y_1 \frac{dy_3}{dx} + y_3 \frac{dy_1}{dx} \\ &= y_1 \frac{dy_3}{dx} + \frac{1}{y_2} \cdot \frac{dy_1}{dx}\end{aligned}$$

隨ツテ、 $y$  ノ導函数ヲ求メルニハ、 $y_3$  ノ導函数ヲ、 $y_1$  及ビ  $y_2$  ノ導函数ニヨツテ書キ表スコトガデキレバヨイ。

$x \neq dx$  グア增加シタ時、 $y_2$  及ビ  $y_3$  ガソレゾレ  $dy_2$ ,  $dy_3$  タ

ケ變化シタスル。 $y_3$  ノ平均變化率ヲ  $y_2$  及ビ  $dy_2$  テ書キ表スト

$$\begin{aligned}\frac{dy_3}{dx} &= \frac{\frac{1}{y_2} + dy_2 - \frac{1}{y_3}}{dx} \\ &= \frac{y_2(y_2 + dy_2)}{y_3 dx} \\ &= -\frac{1}{y_2(y_2 + dy_2)} \frac{dy_2}{dx}\end{aligned}$$

$dx \neq 0$  デ限リナク近ヅケルト、 $\frac{dy_2}{dx}$  及ビ  $\frac{dy_3}{dx}$  デ限リナク近ヅク。又、 $y_2 + dy_2$  ハ、 $y_2$  =限リナク近ヅク。隨ツテ、

$$\frac{dy_3}{dx} = -\frac{1}{y_2^2} \frac{dy_2}{dx}$$

上デ得ラレタ結果ハ、次ノヤウニマトメルコトガデキル。

$$y_3 = \frac{1}{y_2} \text{ ナラバ } \frac{dy_3}{dx} = -\frac{1}{y_2^2} \frac{dy_2}{dx}$$

又、上ノ結果ヲ用ヒルト、次ノ等式ガ得ラレル。

$$y = \frac{y_1}{y_2} \text{ ナラバ, } \frac{dy}{dx} = \frac{y_2 \frac{dy_1}{dx} - y_1 \frac{dy_2}{dx}}{y_2^2}$$

問一 上ノ結果ノ後半ヲ證明セヨ。

問二  $y=\tan x$  ヲ微分セヨ。

問三 函数  $y=x^n$  バアル。但シ、 $n$  ノ正ノ整數トスル。 $y=x^n$  ヲ  $y=x \cdot x^{n-1}$  トミテ微分セヨ。

コノ方法ニヨツテ、 $n$  ノ正ノ整數デアル場合ニ、 $y=x^n$  ノ導函

数々  $y' = nx^{n-1}$  デアルコトヲ證明セヨ。

一 次ノ函数ヲ微分セヨ。

- (一)  $y = (x - 5)^3$
- (二)  $y = (-x + 7)^4$
- (三)  $y = (2x + 3)^5$
- (四)  $y = \left(-\frac{x}{2} + \frac{7}{3}\right)^7$
- (五)  $y = \left(\frac{5}{3}x + \frac{5}{6}\right)^3$
- (六)  $y = \left(-\frac{7}{10}x + \frac{1}{2}\right)^{10}$
- (七)  $y = \left(\frac{x}{4} - \frac{1}{2}\right)^4$
- (八)  $y = \left(\frac{7}{2}x + \frac{1}{3}\right)^6$
- (九)  $y = \left(\frac{2x}{3} + \frac{1}{5}\right)^{-3}$
- (十)  $y = \left(-\frac{2}{5}x + \frac{1}{10}\right)^{-5}$
- (十一)  $y = \sin\left(x - \frac{\pi}{6}\right)$
- (十二)  $y = \sin\left(3x - \frac{\pi}{4}\right)$
- (十三)  $y = \sin\left(-x - \frac{\pi}{6}\right)$
- (十四)  $y = \sin\left(-\frac{1}{2}x + \frac{\pi}{4}\right)$
- (十五)  $y = \cos\left(x - \frac{\pi}{6}\right)$
- (十六)  $y = \cos\left(3x - \frac{\pi}{4}\right)$
- (十七)  $y = \cos\left(-x - \frac{\pi}{6}\right)$
- (十八)  $y = \cos\left(-\frac{x}{2} - \frac{\pi}{4}\right)$
- (十九)  $y = \tan\left(-x - \frac{\pi}{6}\right)$
- (二十)  $y = \tan\left(-\frac{x}{2} - \frac{\pi}{4}\right)$

二 関数  $f(x)$  の導函数  $g(x)$  トスル。次ノ函数ノ導函数ヲ式ニ書き表セ。

- (一)  $y = f(x + b)$
- (二)  $y = f(-x + b)$
- (三)  $y = f(ax)$
- (四)  $y = f(ax + b)$
- (五)  $y = f(ax^2)$
- (六)  $y = f(ax^2 + bx + c)$

三 次ノ函数ヲ微分セヨ。

- (一)  $y = \sqrt{x - 8}$
- (二)  $y = \sqrt{-x + 9}$
- (三)  $y = \sqrt[3]{3x - 8}$
- (四)  $y = \sqrt[3]{(-2x + 8)^5}$
- (五)  $y = \sqrt{x^2 - 1}$
- (六)  $y = \sqrt[3]{1 - x^2}$
- (七)  $y = \sqrt{3x^2 - 2}$
- (八)  $y = \sqrt[3]{5 - \frac{x^3}{3}}$
- (九)  $y = \frac{1}{\sqrt{9 - 2x^2}}$
- (十)  $y = \frac{1}{\sqrt[3]{(8 - 5x)^2}}$

四 次ノ函数ヲ微分セヨ。

- (一)  $y = x \sin x$
- (二)  $y = x^5 \sin x$
- (三)  $y = \frac{1}{2}x^4 \sin x$
- (四)  $y = \frac{1}{3}x^6 \sin x$
- (五)  $y = x \cos x$
- (六)  $y = x^5 \cos x$
- (七)  $y = \frac{1}{4}x^3 \cos x$
- (八)  $y = -\frac{1}{3}x^2 \cos x$
- (九)  $y = \sin^2 x$
- (十)  $y = -\frac{1}{2} \sin^2 x$
- (十一)  $y = \cos^2 x$
- (十二)  $y = -\frac{1}{3} \cos^2 x$
- (十三)  $y = \tan^2 x$
- (十四)  $y = -\frac{1}{2} \tan^2 x$
- (十五)  $y = \cot x$
- (十六)  $y = \cot^2 x$
- (十七)  $y = \sec x$
- (十八)  $y = \sec^2 x$
- (十九)  $y = \cosec x$
- (二十)  $y = \cosec^2 x$

五 関数  $y = \sin^2 x$  ト、次ノ方法デ微分セヨ。

- (一)  $z = \sin x, y = z^2$  トミテ、計算ヲセヨ。
- (二)  $y = \sin x (\sin^2 x)$  トミテ、計算ヲセヨ。

次ニ、上ノ二ツノ方法ノ優劣ヲ比較セヨ。

## 六 次ノ函数ヲ微分セヨ。

- (一)  $y = \sin^2 x$  (二)  $y = -\sin^2 x$   
 (三)  $y = \cos^2 x$  (四)  $y = -\frac{2 \cos^2 x}{3}$   
 (五)  $y = \tan^2 x$  (六)  $y = -\tan^2 x$

七 函数  $f(x)$  の原始函数ヲ  $F(x)$  トスル。二ノ結果ヲ参考シテ、次ノ函数ノ原始函数ヲ言へ。

- (一)  $y = f(x+b)$  (二)  $y = f(-x+b)$   
 (三)  $y = f(ax)$  (四)  $y = f(ax+b)$

## 八 次ノ函数ヲ積分セヨ。

- (一)  $y = (x+3)^5$  (二)  $y = (-x+3)^5$   
 (三)  $y = (2x+3)^4$  (四)  $y = (-2x+5)^6$   
 (五)  $y = (x+3)^{\frac{1}{2}}$  (六)  $y = (-x+7)^{\frac{1}{3}}$   
 (七)  $y = \left(\frac{x}{2} - \frac{1}{3}\right)^{-\frac{3}{2}}$  (八)  $y = \left(-\frac{x}{3} + \frac{1}{5}\right)^{-\frac{1}{2}}$   
 (九)  $y = \frac{5}{7} \left(\frac{x}{5} + \frac{1}{3}\right)^{-\frac{2}{3}}$  (十)  $y = -\frac{1}{6} \left(-\frac{x}{4} + \frac{3}{4}\right)^{-\frac{3}{2}}$

$$(十一) y = \sin 2x \quad (十二) y = -\frac{1}{2} \sin 3x$$

$$(十三) y = \sin \frac{x}{2} \quad (十四) y = -3 \sin \frac{x}{3}$$

$$(十五) y = \cos 2x \quad (十六) y = -4 \cos 4x$$

$$(十七) y = \cos \left(-\frac{x}{2}\right) \quad (十八) y = -\cos \left(-\frac{x}{3}\right)$$

$$(十九) y = \sin \left(-\frac{x}{2} + \frac{\pi}{3}\right) \quad (二十) y = \cos \left(-\frac{x}{3} + \frac{\pi}{4}\right)$$

九 函数  $y = \sin^2 x$ ,  $y = \cos^2 x$  の積分セヨ。六ノ等式ヲ参考ニ

シテ、ソノ方法ヲ工夫セヨ。

$$\sin^2 x = \frac{1}{2}(1 - \cos 2x), \quad \cos^2 x = \frac{1}{2}(1 + \cos 2x)$$

十 曲線  $y = \sin 2x$  ト  $x$  軸上ノ  $0$  カラ  $\pi$  マデノ直線トデ囲ム  
图形ヲ、 $x$  軸ノ周リニ回轉スルト、一つノ立體ガ出来ル。ソノ  
立體ノ體積ヲ求メヨ。

十一  $x$  の函数ヲ  $y = x^n$  トシ、 $n$  ヲ正ノ整數トスル。コノ函  
数關係ハ、次ノヤツニ書き表サレル。

$$y^n = x$$

(イ) 兩邊ヲ  $x$  デ微分セヨ。

(ロ) (イ) の結果ヲ用ヒテ、 $y$  の導函数ヲ求メヨ。

十二  $x$  の函数ヲ  $y = x^p$  トシ、 $p$  ヲ任意ノ正或ヘ負ノ分數トス  
ル。前問同様ノ方法デ、ソノ導函数ヲ求メヨ。

十三 十一、十二デ、 $x$  ハ  $y$  の函数トミラレル。 $\frac{dx}{dy}$  ハ求メ、  
コレヲ  $\frac{dy}{dx}$  ト比ベヨ。

十四 變數  $x$ ,  $y$  ガアツテ、 $x^2 + y^2 = 25$  トスル。次ニ示シク二  
ツノ方法デ、 $x$  = 就イテノ  $y$  の導函数ヲ求メヨ。

(イ)  $y = \pm \sqrt{25 - x^2}$  トシテ、右邊ヲ  $x$  = 就イテ微分スル。

(ロ)  $x^2 + y^2 = 25$  の兩邊ヲ  $x$  = 就イテ微分スル。

十五 圓  $x^2 + y^2 = 25$  ガアル。ソノ上ノ點  $(3, 4)$  = 於ケハ接  
線ノ方程式ヲ作レ。

十六 次ノ函数デ、 $y$  の極大・極小ヲ求メヨ。

$$(一) y = x(a-x)^2 \quad (a > 0)$$

$$(二) y = (x-a)^2(x-2a)^3 \quad (a > 0)$$

$$(三) \quad y = \frac{x^2 - 7x + 6}{x - 10}$$

$$(四) \quad y = \frac{(x-1)^3}{(x+1)^2}$$

$$(五) \quad y = \sin x(1 + \cos x)$$

$$(六) \quad y = \cos x(1 - \sin x)$$

## 八 指數函数・對數函数

### 一 對數函数

$x$  の函数  $y$  ヲ  $y = \log_a x$  トスル。但シ、 $a$  ヲ正の数トスル。

コノヤウナ函数ヲ、 $a$  底トスル 對數函数 トイフ。

問一  $x$  ヲ 1 カラ 10 マデノ範囲ニツテ

$$y = \log_{10} x$$

ノ圖表ヲ書ケ。次ニ、ソノ導函数ノ圖表ヲ書き加ヘヨ。

$y = \log_a x$  の平均變化率ハ

$$\frac{dy}{dx} = \frac{\log_a(x + \Delta x) - \log_a x}{\Delta x}$$

$$= \frac{\log_a \left(1 + \frac{\Delta x}{x}\right)}{\Delta x}$$

$\frac{\Delta x}{x}$  ヲ  $h$  トスルト、

$$\frac{dy}{dx} = \frac{\log \left(1 + \frac{\Delta x}{x}\right)}{\frac{\Delta x}{x} \cdot x}$$

$$= \frac{1}{x} \cdot \frac{\log(1+h)}{h}$$

$$= \frac{1}{x} \log(1+h)^{\frac{1}{h}}$$

對數函数ノ導函数ヲ求メルニハ、 $\Delta x \neq 0$  = 限リナク近ヅイタ時、即チ、 $h \neq 0$  = 限リナク近ヅイタ時ニ於ケル  $(1+h)^{\frac{1}{h}}$  の極限ヲ求メルトヨイ。

問二  $h \neq 0.1, 0.01, 0.001$  トシテ  $(1+h)^{\frac{1}{h}}$  の値ヲ計算セヨ。

$h \neq 0$  = 限リナク近ヅク時ニ於ケル、 $(1+h)^{\frac{1}{h}}$  の極限値ハ、  
一ツノ無理数デアツテ、普通  $e$  ト書キ表サレル。

$$e = 2.71828 \dots$$

デアル。

$$y = \log_a x \text{ の時}, \quad \frac{dy}{dx} = \frac{1}{x} \log_a e$$

特ニ、對數ノ底ヲ  $e$  = スルト、次ノヤウニナル。

$$y = \log_e x \text{ の時}, \quad \frac{dy}{dx} = \frac{1}{x}$$

コレデ、第五節デ保留シテオイタ問題ガ解カレタ、隨ツテ。

函数  $y = x^n$  の積分ニ關シテ、次ノヤウニマトメルコトガデキル。

$$n \neq -1 = \text{等シクナイナラバ}, \quad \int x^n dx = \frac{x^{n+1}}{n+1} + C$$

$$n \neq -1 = \text{等シイナラバ}, \quad \int \frac{dx}{x} = \log x + C$$

對數函数ノ微分ヲ考ヘル時、底ヲ  $e$  = 取ルト、ソノ導函数ノ形ガ簡単ニナル。ソレ故、對數ニヨル數計算以外デハ、對數函数ノ底トシテ  $e$  ヲ用ヒルコトガ多イ。

$e$  ド底トスル對數ヲ 自然對數 トイフ。

今後、自然對數デハ、ソノ底ヲ省クコトニスル。

### 問三 問一デ書イタ導函數ノ圖表ハ、大體

$$y = \frac{1}{x} \log 2.72$$

ノ圖表トミナサレル、コレヲ調ベヨ。

問四 次ノ函数ノ原始函數ヲ求メヨ、但シ、 $x$  ハ正ノ範囲アルモノトスル。

$$(一) \quad y = \frac{1}{x}$$

$$(二) \quad y = \frac{5}{x}$$

### 二 指數函數

$x$  ノ函数  $y$  ヲ  $y = \log x$  トスル、 $x, v$  ノ關係ハ  $x = e^v$  トモ書キ表サレルカラ、 $x$  ハ  $v$  ノ函数デアルドミラレル、 $x, y$  ヲ入レ候ヘテ、 $y = e^x$  ヲ得ル。

一般、 $y = a^x$  ノヤウナ函数ヲ 指數函數 トイフ。

ココデ、指數函數  $y = e^x$  ノ導函數ヲ求メヨウ。  
 $y = e^x$  デアルト、 $\log y = x$  トナル、コノ兩邊ヲ  $x$  = 就イテ微分スルト

$$\begin{aligned} \frac{1}{y} \cdot \frac{dy}{dx} &= 1 \\ \frac{dy}{dx} &= y \\ &= e^x \end{aligned}$$

トナル。

問一 次ノ函数ヲ微分セヨ。

$$(一) \quad y = e^{2x}$$

$$(二) \quad y = e^{3x}$$

$$(三) \quad y = e^{x^2}$$

$$(四) \quad x = e^{-x} \quad (五) \quad y = e^{-2x} \quad (六) \quad y = e^{-\frac{x}{2}}$$

同二  $y = a^x$  ヲ微分セヨ。次ノ等式ヲ参考ニシテ、ソノ方法フ若ヘヨ。

$$\log y = x \log a, \quad y = e^{x \log a}$$

上デ得ラレタ結果ハ、次ノヤウニマカルコトガデキル。

$$y = e^x \text{ ナラバ}, \quad \frac{dy}{dx} = e^x$$

$$y = a^x \text{ ナラバ}, \quad \frac{dy}{dx} = a^x \log a$$

積分  $\int_1^x \frac{1}{x} dx$  テ、 $p$  ヲ變數トスルト、コレハ  $k$  ノ函数デアル、コノ關係ヲ圖表ニ示セ。

コノ圖表ヲ用ヒテ、 $\int_1^x \frac{1}{x} dx$  ノ値ヲ  $I$  = スル値ハ約 2.72 テアルコトヲ確カメヨ。

### 二 次ノ函数ヲ微分セヨ。

$$(一) \quad y = \log 2x \quad (二) \quad y = \log \frac{x}{2}$$

$$(三) \quad y = \log(2x+1) \quad (四) \quad y = \log\left(-\frac{x}{2}+5\right)$$

$$(五) \quad y = \log(7-3x) \quad (六) \quad y = \log\left(9-\frac{x}{3}\right)$$

$$(七) \quad y = \log(ax+b) \quad (八) \quad y = \log(ax^2+bx+c)$$

$$(九) \quad y = \log_a(x+1) \quad (+) \quad y = \log_n(-2x+10)$$

$$(+/-) \quad y = \log \sin x \quad (+/-) \quad y = \log \cos x$$

- (十三)  $y = \log_{10} \sin x$       (十四)  $y = \log_{10} \cos x$   
 (十五)  $y = e^{-x^2}$       (十六)  $y = e^{-\frac{x^2}{2}}$   
 (十七)  $y = e^{ax+b}$       (十八)  $y = e^{ax^2+bx+c}$   
 (十九)  $y = e^{ax} + e^{bx}$       (二十)  $y = e^{ax} - e^{bx}$

三 次ノ函数ヲ積分セヨ。

- (一)  $y = \frac{1}{x+1}$       (二)  $y = -\frac{1}{x-1}$   
 (三)  $y = \frac{1}{2x+3}$       (四)  $y = \frac{1}{5-3x}$   
 (五)  $y = e^x$       (六)  $y = e^{2x}$   
 (七)  $y = e^{3x}$       (八)  $y = e^{-\frac{x}{2}}$   
 (九)  $y = e^{ax}$       (十)  $y = e^{-ax}$   
 (十一)  $y = \tan x$       (十二)  $y = \cot x$

四 次ノ定積分ヲ求メヨ。

- (一)  $\int_a^b \frac{dx}{x+5}$       (二)  $\int_a^b \frac{dx}{10-x}$   
 (三)  $\int_{-\log 2}^{\log 2} e^x dx$       (四)  $\int_{-\log 2}^{\log 2} (e^x + e^{-x}) dx$

五 次ノ函数ヲ微分セヨ。

- (一)  $y = x \log x$       (二)  $y = x^2 \log x$   
 (三)  $y = e^x \sin x$       (四)  $y = e^{-x} \sin x$   
 (五)  $y = e^x \sin 3x$       (六)  $y = e^{-x} \sin 2x$   
 (七)  $y = e^x \cos x$       (八)  $y = e^{-x} \cos x$   
 (九)  $y = e^x \cos 2x$       (十)  $y = e^{-x} \cos 4x$   
 (十一)  $y = e^{ix} \cos(px+q)$       (十二)  $y = e^{ix} \sin(px+q)$

六 曲線  $y = a^x$  ノ  $x=0$  ノ點ニ於ケル接線ノ勾配ハ、 $a$  ノ函数アル。接線ノ勾配ガ  $1 =$  ナルヤウナ  $a$  ノ値ハ  $e$  デアル。コレヲ證明セヨ。

七 元金  $P$  回ノ年利率  $r$ 、一年ゴトノ複利デ  $x$  年間預ケタスル、ソノ時ノ元利合計ヲ  $A_1$  間トスルト

$$A_1 = P(1+r)^x$$

トナル。今、半年毎、四分ノ一年毎、八分ノ一年毎、……ノ複利改メルト、ソノ元利合計  $A_2, A_3, A_4, \dots$

$$A_2 = P\left(1+\frac{r}{2}\right)^{2x}$$

$$A_3 = P\left(1+\frac{r}{4}\right)^{4x}$$

$$A_4 = P\left(1+\frac{r}{8}\right)^{8x}$$

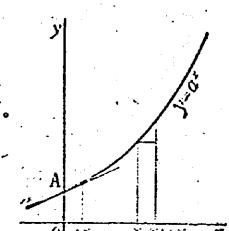
トナル。(切上ガ、切捨テハシナイモノトスル)

上ノヤウニ、利息ヲ元金ニ繰り込み期間ヲ次第ニ短クシテ行クト、元利合計ヲ表ス式ハドノヤウナモノニ近ヅクカ。

## 九 微分・積分ノ應用

### 一 近似式

簡単ナ式ニ就イテ、ソノ近似式ヲ作ルコトハ既ニ學シダ。例ヘバ、 $(1+x)^n \approx 1+nx$  トスル。





ノ近似式トシテ、三點  $B_1, B_2, B_3$  ヲ通ル二次式  $y = a_0 + a_1x + a_2x^2$  ヲ用ヒルトスル。明ラカニ、コノ近似式デ示サレル曲線ハ、 $OA_1$  = 垂直ナ直線ヲ對稱軸トスル拋物線デアル。

問一 三點  $B_1, B_2, B_3$  ヲ通ル拋物線ノ式ヲ  $y = px^2 + qx + r$  トスル、係數  $p, q, r$  ヲ求メルニハ、座標軸ヲドコニトレバヨイカ。

久、  $OB_1 = y_1, A_1B_1 = y_2, A_2B_2 = y_3, OA_1 = A_1A_2 = d$  トシテ、係數  $p, q, r$  ヲ定メヨ。

問二  $A_1A_2$  ヲ  $x$  軸、 $A_1B_1$  ヲ  $y$  軸ニトツタトスル。面積  $OB_2A_2$  ヲ  $S$  トスル。次ノ等式ヲ證明セヨ。

$$\begin{aligned} S &= \int_{-d}^{d} (px^2 + qx + r) dx \\ &= \frac{2}{3}d(pd^2 + 3r) \\ &= \frac{d}{3}(y_1 + 4y_2 + y_3) \end{aligned}$$

### 三 微分方程式

一直線上ヲ運動シテキル物體ガアル、ソノ定點カラノ距離  $t$  定マツタ時刻カラノ時間  $t$  トノ間ニ、 $x = f(t)$  ノ關係ガアルトスル。明ラカニ、 $\frac{dx}{dt}$  ハソノ物體ノ速サヲ示ス。

$\frac{dx}{dt}$  ハ  $x$  ノ函数デアル。コレノ導函数ヲ作ルト、導函数ハ速サノ變化ヲ示ス。

コノ函数ヲ  $\frac{d^2x}{dt^2}$  ト書き表ス。或シノ定マツタ値ニ對スル  $\frac{d^2x}{dt^2}$  ノ値ヲ、ソノ  $t$  = 對スル時刻ニ於ケル 加速度トイフ。

高イ所カラ球ヲ落シタスル、空氣ノ抵抗及ビ風ノ力ヲ無視シテ、ソノ球ニ働く力ハ一定デアル。隨ツテ、運動ノ法則カラ、加速度ガ一定デアルトイヘル。コノ一定ノ値ヲ、通常  $g$  ト書キ表ス。故ニ、次ノ等式が成リ立ツ。

$$\frac{dx}{dt} = g$$

コノヤウニ、未知ノ函数ヲ微分シタモノヲ含ム等式ヲ 微分方程式 トイフ。シカラ未知ノ函数ヲ求メルコトヲ 微分方程式ヲ解ク トイフ。

問一 上ノ微分方程式ヲ解キ、時間ト距離トノ關係ヲ示ス式ヲ作レ。

前問デハ、空氣ノ抵抗ヲ無視シタガ、コレヲ考ヘニ入レミヨウ。空氣ノ抵抗ハソノ速サニ比例スルモノトスル。コノ球ノ質量ヲ  $m$ 、速サヲリトスル。

コノ球ニ働く力ハ、 $m \frac{dv}{dt}$  ト書き表サレル、又、重力  $mg$  ハ下方ニ向キ、抵抗  $kv$  ( $k$  ハ定數) ハ上方ニ向イテキル。今、下方ニ向カフ方向ヲ正トスレバ、ソノ球ニ働く力ハ  $mg - kv$  ト書き表サレル。隨ツテ、次ノ微分方程式ガ得ラレル。

$$m \frac{dv}{dt} = mg - kv$$

問二 上ノ微分方程式ハ、次ノヤウニ書き表スコトガデキル。コレヲ證明セヨ。但シ  $a = \frac{k}{m}$  トスル。

$$\begin{aligned} \frac{dv}{dt} &= a \\ \frac{g - v}{a} &= t \end{aligned}$$

コノ兩邊ヲテ積分スルト、次ノ等式が得ラレル。コレヲ證明セヨ。

$$-\log\left(\frac{g}{a}-v\right)=at+C \quad (C \text{ ハ定数})$$

問三 時間  $t$  ヲ落下ノ始メカラ測ルモノトシテ、積分定数ヲ定ムルト、次ノ等式が得ラレル。コレヲ證明セヨ。

$$v=\frac{g}{a}(1-e^{-at})$$

問四 速サハ時間ガ経ツニツレテ增加スル。然シ、ソノ大きニ一定ノ限度ガアル。コレヲ證明セヨ。

一 函數  $y=\log(1+x)$  =於イテ、 $|x|<1$  ナラバ

$$\log(1+x)=a_0+a_1x+a_2x^2+a_3x^3+\dots$$

ト置コトガデキル。

(一) 係數  $a_0, a_1, a_2$  ノ値ヲ定メヨ。

(二)  $x$  ノ三次以上ノ項ヲ捨テテ近似式ヲ作リ、 $\log 1.05$  ノ値ヲ求メヨ。

二 函數  $y=e^x$  =於イテ

$$e^x=a_0+a_1x+a_2x^2+a_3x^3+\dots$$

ト置コトガデキル。

(一) 係數  $a_0, a_1, a_2$  ノ値ヲ定メヨ。

(二) 係數  $a_n$  ヲ  $n$  ノ式デ書キ表セ。

(三)  $x^n$  及ビンレヨリモ次數ノ高イ項ノ和ハ

$$\frac{x^n}{n!} \times \frac{1}{1-\frac{x}{n+1}}$$

ヨリモ小サイ、但シ、 $\left|\frac{x}{n}\right| < 1$  トスル。

(四)  $e$  ノ値ヲ小數第五位マテ正シク求メヨ。

三 次ノ式ハ、 $\cos x$  ノ近似式ト考ヘラレル。コレヲ證明セヨ。

$$\cos x=1-\frac{x^2}{2!}+\frac{x^4}{4!}-\frac{x^6}{6!}$$

$\cos 10'$  ヲ上ノ近似式ヲ用ヒテ計算スルト、ソノ近似値ハドノ行マデ正シカ。

四  $x$  ノ絶對値ガ十分小サイ時、 $\frac{1}{(1+x)^2}$  ノ近似式ヲ作レ。

又、コレヲ用ヒテ  $\frac{1}{0.995}$  ノ近似値ヲ計算セヨ。

五  $x$  ノ絶對値ガ十分小サイ時、 $f(x)$  ノ  $y$  近似式トシテ

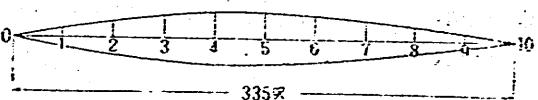
$$y=f(0)+f'(0)dx$$

ガ得ラレル。 $y=f(x)$  ノ圖表デ、コノ近似式ハ何ヲ表シテキルカヲ考ヘヨ。

六 半徑 10 横ノ四分圓ヲ畫ケ。ソノ半徑ヲ十等分シ、各分點ヲ通ツテ半徑ニ垂線ヲ立テテ圓周ト交ハラセル。分割サレタ圓弧ノ各部ヲ直線デ近似シテ、コノ四分圓ノ面積ヲ求メヨ。又、ソノ近似値ノ相對誤差ヲ計算セヨ。

次ニ、本節テ述ベタヤウニ、圓弧ヲ拋物線ノ弧デ近似シテ、四分圓ノ面積ヲ求メヨ。又、ソノ近似値ノ相對誤差ヲ計算セヨ。

七 次ノ圖ト數表ハ、或ル船體ソノ吃水線ヲ通ル平面デ切



ツタ切リ口ヲ示ス。

コノ船ノ吃水線ガ水面ノ上1呎ノ高サニアルトスレバ、コノ上ニ荷ドレホドノ重サノ貨物ヲ積ミ込ムコトガデキルカ。但シ、海水35立方呎ノ重サツ1噸トシテ計算セヨ。

八  $y=f(x)$  ガ、次ノ二ツノ函数

$$y=px+q, \quad y=px^2+qx+r$$

ノウチノ何レカデアルトスル。曲線  $y=f(x)$ 、二直線  $x=a$ ,  $x=a+b$  及ビ  $x$  軸デ囲ム图形ノ面積ハ、次ノ式示サレル。コレヲ證明セヨ。

$$\frac{b}{6} \left\{ K(a) + 4K\left(a + \frac{b}{2}\right) + K(a+b) \right\}$$

九 木製ノ球ガアツテ、ソノ重サハ540瓦、體積ハ600立方糠デアル。コレヲ水中ニ深ク沈メテ後放スト、ドノヤウナ運動ヲスルカ。但シ、水ノ抵抗ヤ摩擦ヲ無視シテ考ヘヨ。

又、水中デ放シテカラ2秒間ニ、コノ球ハドレダケ浮キ上ルカ。

十 或ル電車ガ驛ヲ出發シテカラ、一様ニソノ速サツ増シテ20秒後ニハ時速60杆ニ達シタ、ソノ後、2分間ハ等速デ進行シ、次ニ、ソノ速サツ一様ニ減シテ5秒後ニ停車シタ。

コノ電車ガ出發シテカラ停車スルマデニ、何程ノ距離ヲ進行シタコトニナルカ。

分點番號	積録(呪)
1	7.0
2	15.1
3	19.3
4	20.8
5	21.0
6	20.0
7	16.5
8	11.5
9	6.0

## 統計ト確率

### 一 統計(一)

我々中學生ノ體重ガ以前ニ比ベテ減少シテキルノデハナイカ。トイフ問題ガ起ツタルスル。

問一 體重ガドノヤウナ現状ニアルカヲ調ベルノニ、次ノ何ノ方法ニヨルノガ適當デアルト考ヘラレルカ。

- 我々ノ組ノ體重ノ平均ヲトル。
- 我々ノ學年ノ體重ノ平均ヲトル。
- 全校生徒ノ體重ノ平均ヲトル。
- 全校生徒ノ體重ヲ、學年別ニ平均ヲトル。
- 全校生徒ノ體重ヲ、年齢別ニ平均ヲトル。

問二 全校ノ生徒ニ就イテ、年齢別ニ體重ノ平均ヲ求メヨ。又、昭和十二年及ビ十六年ニ於ケル第四學年以下ノ全生徒ニ就イテ、體重ノ平均ヲ年齢別ニ計算シ、上デ求メタモノト比ベヨ。

問三 下ノ表ハ、昭和十二年ニ於ケル全國中學校生徒ノ身體検査ヲ基ニシテ作ツタ、體重ノ平均デアル。

年齢	13	14	15	16	17	18
體重(呪)	34.2	39.1	44.4	49.2	52.3	53.7

コレト前問デ得タ平均トヲ比較セヨ。

問一ノ(三)ノヤウニ、全校生徒ノ體重ノ平均ヲトルノデハ、









ル、ワガ國ノ年齢階級別人口ノ統計デアル。コレヲ用ヒテ、昭和十五年ニ於ケル、年齢階級別人口ヲ推定スルコトガデキル。

昭和十五年ノワガ國ノ人口總計ハ、約 7311 萬人デアル。上ノ推定ガ大體當ツカドウカヲ調ベヨ。

一 問二デハ、次ノコトヲ豫想シテキル。即チ、箇々ノ事象デハ全ク偶然ニ支配サレテ、何ノ規則モナイヤウニ見エル場合デモ、同種ノ事象ヲ數多ク集メルト、或ル一定ノ法則ガ成リ立ツデアラウトイコトデアル。

貨幣ヲ投ゲルト表ガ出ルカ裏ガ出ルカハ、箇々ノ場合ニ就イテ、全ク豫想スルコトガデキナイ。今、同ジ三箇ノ貨幣ヲ同時に幾回モ投ゲル時、全部表ガ出ル回数ニ就イテ、ドノヤウナ法則ガ成リ立ツト推定サレルカ。コレヲ調ベヨ。

又、表ガ二ツ、裏ガ一ツ出ル場合ニ就イテモ同様ノコトヲ試ミヨ。

二 前問デ、法則ガ推定サレタラ、尙、數百回試ミテ、得ラレタ法則ガ大體成リ立ツカドウカヲ調ベヨ。

三 昭和十年ニ人口ガ約 150 萬アツク地方ガアル。ソノ當時二十歳以上四十歳未滿ノ男子ハ凡ソ何程アツト推定サレルカ

#### 四 確率

或シ事象ガコレカラ起ルトカ、或シ事象ガ前ニ存在シタトカ

ガマダ確實ニリカツテキナイ時、ソレラノ事象ニ就イテノ確カラシサヲ考ヘル場合ガアル。

問一 五十歳ノ男ノ人ガ尙五年生き残ルコトト、八十歳ノ人ガ尙五年生き残ルコトハ、同ジ程度ニ可能性ガアルモノト考ヘラレナイ。六十一頁ニアル分布表ヲ用ヒテ、コノ理由ヲ明ラカニセヨ。

問二 甲、乙、丙ノ三組ノ籤ガアル。甲ハ百本アツテ、ソノウチ當リガ一本デアリ、乙ハ百本アツテ、ソノウチ當リガ十本デアリ、又、丙ハ千本デアツテ、ソノウチ當リガ十本デアル。次ノ三ツノ場合ニ於ケル可能性ヲ比ベヨ。

- (一) 甲ノ籤ヲ一本引イテ當ルコト
- (二) 乙ノ籤ヲ一本引イテ當ルコト
- (三) 丙ノ籤ヲ一本引イテ當ルコト

確カラシサヲ數ニ示シテ、信頼度ガ數ノ大小ニヨツテワカルヤウニシヨウ。問二デ

- (一) 甲ノ籤ハ、當リガ百本ニツイテ一本ノ割合デアル。
- (二) 乙ノ籤ハ、當リガ十本ニツイテ一本ノ割合デアル。
- (三) 丙ノ籤ハ、當リガ百本ニツイテ一本ノ割合デアル。

隨ツテ、一本出イテ當ル確カラシサヲ、(一)ノ場合ニハ  $\frac{1}{100}$ 、(二)ノ場合ニハ  $\frac{1}{10}$ 、(三)ノ場合ニハ  $\frac{1}{100}$  トスル。

コノヤウニ、確實ニハカラナイ事柄ニ就イテ、ソノ推定判断ノ信頼度、確カラシサヲ示ス數ヲ確率トイフ。

何レノ場合ニ於イテモ、籤ニ目印ナドガツイテキナクテ、ド



三 右ノ表ハ、ソガ國ノ出生男子十萬人ガ、年ヲ經ルニ從ツテ死亡減少シテ行ク有様ヲ、統計ニヨツテ推定シテ得タモノデアル。

コノ表ヲ基ニシテ、本年十歳ノ男子ガ六十歳ニ達スル確率ト、達シナイ確率トヲ求メヨ。

四 上ノ表ヲ基ニシテ、本年十歳ノ男子ガ六十歳ニ達スル確率ト、本年二十歳ノ男子ガ七十歳ニ達スル確率トヲ計算シ、ソノ大小ヲ比ベヨ。又、ソノ意味ヲ述ベヨ。

五 或ル統計デ、資料ノ數ガル箇アツテ、ソノウチ甲、乙、丙ノ事象ノ起ル場合ノ數ヲソレヅレ  $a$  箇、 $b$  箇、 $c$  箇トスル、コレラノ事象ハ二ツ以上重複シテ起ラナイモノトシテ、次ノ確率ニ關スル計算ヲセヨ。

- (一) 甲ノ起ル確率
- (二) 甲ノ起ラナイ確率
- (三) 乙ノ起ル確率
- (四) 丙ノ起ル確率
- (五) 乙、丙ノ何レカガ起ル確率
- (六) (三)、(四)、(五)ノ確率ノ間ニアル關係

### 五 數學的確率

毎日千回ヅツ五日間振リ、各ノ日ニ就イテ出タ目ノ回数ヲ記録セヨ。

年齢	人數	年齢	人數
0	10,0000	35	6,6849
5	8,1788	40	6,4242
10	8,0141	50	5,7034
15	7,9100	60	4,4712
20	7,6189	70	2,6343
25	7,2486	80	8071
30	6,9441	90	531

問一 第一日目ニ於イテ、各目ノ出タ割合ヲ求メヨ。

又、第二日目、第三日目、第四日目、第五日目マデノ總計ニ就イテモ計算セヨ。

上ノ實驗カラ、ドノ目ノ出ルコトモ同等デアルト考ヘラレルアラウ。

然シ、コノヤウナ實驗ニヨルマデモナク、ドノ目ガ出易イト考ヘラレル根據ガナイカラ、ドノ目ノ出ルコトモ同等デアルト認メラレル。ソレ故、各ノ目ノ出ル確率ヲ  $\frac{1}{6}$  トシテヨイ。

上ノヤウニ、實驗ニヨラナイデ定メタ確率ヲ、數學的確率トイフ。コレニ對シテ、經驗ヲ基ニシテ定メタ確率ヲ、經驗的確率トイフ。

數學的確率ハ、一意ニ定マル。コレニ反シテ、經驗的確率ハ、與ヘラレタ資料ニヨツテ定マルモノデアルカラ、資料ニヨツテ異ナルノガ普通デアル。然シ、經驗的確率ハ、ソノ計算ヲシタ基ニナル資料ノ箇數ガ多クナレバ、數學的確率ニ漸次近ヅクモノト考ヘラレル。又、コノヤウナコトヲ想定シテキレバコソ、數學的確率ガ具體的ナ事象ニ關スル見込ミヲ立テルノニ役立ツメアル。

隨ツテ、數學的確率ヲ用ヒテ算出シタ結果ニヨツテ立テタ見込ミガ、實驗上著シク違フ場合ニハ、基ニナル數學的確率ヲ計算シタ時、同等ト考ヘタコトガ正シカドウカヲ檢討シナケレバナラナイ。

問二 三箇ノ同ジ貨幣ヲ同時ニ投ゲル時、ソノ表・裏ノ出方ガ四通リアル、ソノ各々ニ就イテ、確率ヲ計算セヨ。

又、今求メタ確率ト前節一テ求メタ經驗的確率トヲ比較セヨ。  
問三 二ツノ袋ヲ同時ニ投ゲテ、出タ目ノ數ノ和が3ニナル確率ヲ求メヨ。

又、4, 5, 6ニナル確率ヲ計算セヨ。

問四 甲ノ籠ハ五本アツテ、ソノウチ當リガ二本デアリ、乙ノ籠ハ六本アツテ、ソノウチ當リガ一本デアル。

コノ二ツノ籠ニ就イテ、次ノ確率ヲ求メヨ。

(一) 甲ヲ引イテ當ル確率

(二) 乙ヲ引イテ當ル確率

(三) 甲ト乙トヲ引イテ、共ニ當ル確率

(四) 甲ト乙トヲ引イテ、ドチラモ當ラナイ確率

(五) 甲ト乙トヲ引イテ、ドチラカ一方ダケガ當ル確率

一 四箇ノ同じ貨船ヲ同時ニ投ゲル時、表・裏ノ出方ニ幾通りノ種類ガアルカ。

又、コノ各々ノ場合ニ就イテ、確率ヲ計算セヨ。

二 二箇ノ袋ヲ同時ニ投ゲテ、出タ目ノ和ガ偶數ニナル確率ハ何程カ。又、奇數ニナル確率ハ何程カ。

三 或ル月ニ賣リ出サレタ寶籠ハ總數700萬枚デ、當リ一等ガ280本、二等ガ1400本、三等ガ5,600本、四等ガ77,0000本デアツタ。

コノ籠ヲ一枚買ツタ人ガ、何等カニ當ル確率ヲ計算セヨ。

又、ドレニモ當ラナイ確率ヲ計算セヨ。

四 前問ト同ジ條件ノモトニ、寶籠ガ二回賣リ出サレタトスル、各回ニ一枚ヅツ買ツタ場合ニ就イテ、次ノ確率ヲ計算セヨ。

(一) 二枚トモ當ル確率

(二) 一枚ダケ當ル確率

(三) 少クトモ一枚當ル確率

(四) 一枚モ當ラナイ確率

五 甲、乙、丙三箇ノ袋ヲ同時ニ投ゲル時、目ノ出方ハ幾通りアルカ。

次ニ、一ノ目ガツツ、二ノ目ガ二ツ出ル確率ヲ求メヨ。

六 袋ノ中ニ三箇ノ白球ト四箇ノ黒球ガ入ツテキル。コノ中カラ

(一) 一箇ノ球ヲ取り出シテ、ソレガ白デアル確率

(二) 二箇ノ球ヲ取り出シテ、二ツトモ白デアル確率

(三) 二箇ノ球ヲ取り出シテ、一つガ黒デ、他ノ一つガ白デアル確率

ヲ求メヨ。

七 袋ノ中ニ四箇ノ白球ト六箇ノ黒球ガ入ツテキル。コノ中カラ二箇ノ球ヲ取り出シテ、二ツトモ白デアル確率ハ、 $C_2 \div _{10} C_2 =$ 等シイ。コレヲ證明セヨ。

八 前問テ、二ツトモ黒デアル確率ヲ求メヨ。又、白ト黒トデアル確率ヲ求メヨ。

## 六 確率ノ計算

前節デ、種々ノ場合ニ就イテ、數學的確率ノ計算ノ仕方ヲ考

ヘタ。尙、複雜な場合ニ於ケル確率ヲ求メルタメニ、今マデニ  
リカツクコトヲ整理シテオカウ。

前節ノ問四デ、甲ノ籤ハ五本デアツテ、ソノウチ當リガ二本  
テアリ、乙ノ籤ハ六本アツテ、ソノウチ當リガ一本デアル。

(一) 甲ト乙トヲ一本ヅツ引イテ、ドチラモ當ル確率ヲ、次  
ノヤウニ計算シテ求メルコトモデキル。

甲、乙カラ一本ヅツ引ク時、ソノ引き方ハ  $(5 \times 6)$  通リアル。  
ソノウチ、共ニ當リフ引ク場合ハ  $(2 \times 1)$  通リデアル。隨ツテ、  
コノ確率ハ、 $\frac{2 \times 1}{5 \times 6} = \frac{1}{15}$  デアル。

(二) 甲ト乙トヲ一本ヅツ引イテ、少クトモ一方ガ當ル確率  
ヲ、次ノヤウニ計算シテ求メルコトガデキル。

少クトモ一方ダケガ當ル場合ハ、次ノ三ツニ分ケラレル。

(イ) 甲ガ當リ、乙モ當ル。

(ロ) 甲ガ當リ、乙ガ當ラナイ。

(ハ) 甲ガ當ラナイデ、乙ガ當ル。

甲、乙カラ一本ヅツ引ク時、ソノ引き方ハ前ト同様  $= (5 \times 6)$   
通リアル。ソノウチ、(イ)、(ロ)、(ハ)ノ場合ハ、ソレヅレ  $(2 \times 1)$ ,  
 $(2 \times 5)$ ,  $(3 \times 1)$  通リデアル。

隨ツテ、少クトモ一方ガ當ル確率ハ

$$\frac{(2 \times 1) + (2 \times 5) + (3 \times 1)}{5 \times 6} = \frac{1}{2}$$

デアリ。

問一 甲ヲ一本引イテ當ル確率、乙ヲ一本引イテ當ル確率及  
ビ甲ト乙トヲ一本ヅツ引イテドチラモ當ル確率ノ間ニアル關係

ヲ調ベヨ。

又、甲ト乙ヲ一本ヅツ引イテ、甲モ乙モ當ル確率、甲ガ當ツ  
テ乙ガ當ラナイ確率及ビ甲ガ當ラナイデ乙ガ當ル確率及ビ甲、  
乙ノドチラカ少クトモ一方ガ當ル確率ノ間ニアル關係ヲ調ベヨ。

上デ得ラレタ結果ヲマトメテ一般的ニ述ベルト、次ノヤウニ  
ナル。

(イ) 或ル試行ノモトニ起ル事柄 A, B ガアツテ、コノウチ  
ドレカ一方ガ起レバ、他方ガ起ラナイモノトスル。

A, B ノ起ル確率ヲ  $\alpha, \beta$  トスルト、A, B ノドレカガ起ル確  
率ハ  $\alpha + \beta$  デアル。

(ロ) 或ル試行甲ノモトニ起ル事柄 A ノ確率ヲ  $\alpha$  トシ、甲ト  
關係ノナイ試行乙ノモトニ起ル事柄 B ノ確率ヲ  $\beta$  トスル。

コノ時、試行甲、乙ノモトニ A, B ガ共ニ起ル確率ハ  $\alpha\beta$  デ  
アル。

問二 上ノ(イ), (ロ)ニツノ事柄ガ成リ立ツコトヲ證明セヨ。

上ノ二ツノ性質ハ、確率ヲ計算スル時ニ於イテ基礎ニナルモ  
ノデアル。

問三 十本ノ籤ノウチ、當リガ三本デアル、始メ甲ガ一本引  
キ、次ニ乙ガ一本引ク時、次ノ確率ヲ計算セヨ。

(一) 甲ガ當ル確率

(二) 甲ガ當ツタシテ、乙ノ當ル確率

(三) 甲ガ當ラナカツタシテ、乙ノ當ル確率

## (四) 乙ガ當ル確率

問四 次ニ示スノハ、ワガ國內地ノ人口分布表ノ一部分デアバ。

年 齢	昭和五年人口		昭和十年人口
	男	女	
49 歳	30,6342	54 歳	27,8099
50 歳	28,5734	55 歳	25,8825

コノ統計ヲ基ニシテ、五十歳ト四十九歳ノ二人ノ男子ガ、捕フテ五年以上生キル確率ヲ求メヨ。

又、コノ二人ノウチ、少クトモ一人ガ五年以上生キル確率ヲ求メヨ。

一 二本ノ籠ノウチ、當リガク本アルモノトスル。コノ籠ヲ甲、乙、丙三人が順ニ一本づき引ク時、各々ガ當ル確率ヲ求メヨ。

二 甲ノ袋ニハ白球三箇、黒球五箇ガ入ツテヨリ、乙ノ袋ニハ白球四箇、黒球六箇ガ入ツテキル。別ニ、二本ノ袋ガアツテ、ソレデ甲、乙何レノ袋カラ球ヲ取り出スカコ定メルコトニスル。一箇ノ球ヲ取り出シテ、ソレガ白デアル確率ハ何程カ。

三 二ツノ事柄 A、B ガアツテ、ソレハ同時ニハ起ラナイ。A、B ノウチノ何レカガ起ツタ時、ソレニ續イテ第三ノ事柄 C ガ起リ得ルモノトスル。

A ノ起ル確率ヲ  $\alpha$ 、B ノ起ル確率ヲ  $\beta$

A ガ起ツタ後ニ C ノ起ル確率ヲ  $\delta$

B ガ起ツタ後ニ C ノ起ル確率ヲ  $\delta'$

デアルトスルト、A、B ガ起ル前ニ C ノ起ル確率ハ何程カ。

四 或ル條件ノモトデ、百發撃ツテ平均七十八發命中サセル射手ガアル。

コノ射手ガ同ジ條件ノモトデ、二發撃ツテ一發モ當ラナイ確率、三發撃ツテ一發モ當ラナイ確率ヲ求メヨ。

又、少クトモ一發ハ當ル確率ガ 99% ノ超スノハ、何發以上撃ツタ時カヲ調ベヨ。

五 統計ニヨルト、生マレタ男子十萬人ノタチ、一年以上生存スル者ノ數ハ 8,5990 人デ、コレガ女子ナラバ 8,7586 人デアルトイフ。コレヲ基ニシテ、次ノ確率ヲ計算セヨ。

(一) 男子ガ生マレタトシテ、ソノ子供ガ一年以上生存スル確率

(二) 生マレル子供ガ男子デアツチ、シカモ一年以上生存スル確率

### 七 期望金額

甲、乙ノ二ツノ籠ガアル。甲ハ千本デ、ソノウチ當リガ二十本デアリ、當レバ百回受ケ取ルコトニナツテキル。又、乙ハ千本デ、ソノウチ當リガ十本デアリ、當レバ千回受ケ取ルコトニナツテキル。

甲、乙何レカ一方ヲ選ブ時、單ニ確率ノ大小ノミニヨツテ判断スルコトハデキナイ。

問一 ドノ錢ヲ引クノガヨイカフ考ヘヨ。

甲ノ錢ヲ  $n$  回引イタスル。リガ十分大キケレバ、 $(\frac{n}{50})$  回當ルト考ヘラレルカラ、受ケ取ル金額ノ總計ハ、 $(100 \times \frac{n}{50})$  圓デアル。隨ツテ、甲ノ錢ヲ一本引ク人ハ

$$\frac{100 \times \frac{n}{50}}{n} = 2$$

ト計算シテ、2回受ケ取ルモノト考ヘラレル。

一般ニ、或ル試行ノモトニ、事柄Aが起ル確率ヲ  $\alpha$  トシ、事柄Aが起レバ  $p$  圓ヲ受ケ取ルト約束シタ人ガアルトスル。

上ト同様ニ、 $n$ 回ノ試行ヲ行ナツタスル。 $n$ ガ十分大キケレバ、事柄Aハ  $n\alpha$ 回起リ、受ケ取ル金額ノ總計ハ  $p n \alpha$  圓デアル。隨ツテ、各回ノ試行デ、

$$\frac{p n \alpha}{n} = p \alpha$$

ト計算シテ、 $p \alpha$  圓受ケ取ルモノト考ヘラレル。

コノ  $p \alpha$  圓ヲ、ソノ人ノ受ケ取ル 期望金額 トイフ。

問二 前頁ノ乙ノ錢ニ就イテ、一本引ク人ノ受ケ取ル期望金額ヲ求メヨ。

問三 前頁ノ錢デ、甲ノ方ハ一本2圓デアルトスル。コノ錢ヲ一本引ク人ノ受ケ取ル期望金額ヲ求メヨ、當ツテモ差引キ98圓シカ受ケ取ラナイコトニ注意セヨ。

問四 並開テ、ソノ人ノ支拂フ期望金額ヲ計算セヨ。

問五 前頁ノ例ニ於ケル錢デ、乙ノ方ハ一本10圓デアルト

スル。コノ錢ヲ一本引ク人ノ受ケ取ル期望金額及ビ支拂フ期望金額ヲ計算セヨ。

問六 問二、三デ、ドチラノ錢ヲ引クノガ有利デアルカ。コレヲ説ベヨ。

問七 一般ニ、或ル事柄  $A_1, A_2, \dots, A_n$  ガアツチ、ソノ何レカガ起リ、同時ニ二ツ以上ハ起ラナイモノトスル。 $A_1, A_2, \dots, A_n$  ガ起ツタ時ニ受ケ取ル金額ヲ  $p_1$  圓、 $p_2$  圓、……、 $p_n$  圓トスル。ソノ人ノ受ケ取ル期望金額ハ  $(\alpha_1 p_1 + \alpha_2 p_2 + \dots + \alpha_n p_n)$  圓デアル。コレヲ證明セヨ。

ココデ  $\alpha_1, \alpha_2, \dots, \alpha_n$  ハ  $A_1, A_2, \dots, A_n$  ノ起ル確率トスル。

問八 段ヲ一箇投ゲテ、出タ目ガ1ナラバ1回、2ナラバ2回、……、6ナラバ6回ヲ受ケ取ルモノトスル。コノ約束ヲシタ人ノ受ケ取ル期望金額ハ何程ガ。

一 或ル錢ニ一等カラ四等マデノ當リガアツチ、ソノ各々ノ當ル確率及ビ各等ノ當錢金ハ次ノ通リデアル。

一等 當錢金 一萬圓 確率 一万分ノ一

二等 " 五千圓 " 一万分ノ三

三等 " 二千圓 " 千分ノ一

四等 " 五百圓 " 百分ノ一

コノ錢一本ガ10圓デアルトシテ、一本引ク人ノ受ケ取ル期望金額及ビ支拂フ期望金額ヲ求メヨ。

二 段ヲ投ゲテ、一ノ目ガ出レバ1回、二ノ目ガ出レバ2回

開き不良

76

ヲ受ケ取ルモノトスル。儀ヲ一回振ル人ノ期望金額ハ何程カ

三・1, 2, 3, ……, nノ番號ノツイタリ箇ノ球ヲ入レタ袋  
アル。コノ袋カラ球ヲ一箇ヅツn回取り出シ、ソノ度毎ニ取  
出シタ球ハ袋ノ中ニ戻スモノトスル。

今、第一回=1ガ出レバ1回、第二回=2ガ出レバ2回、  
三回=3ガ出レバ3回トイフヤウニ金ヲ受ケ取ルモノトレ  
コノ人ノ受ケ取ル期望金額ハ何程カ。

58.8.31

文部省寄附簿入石